

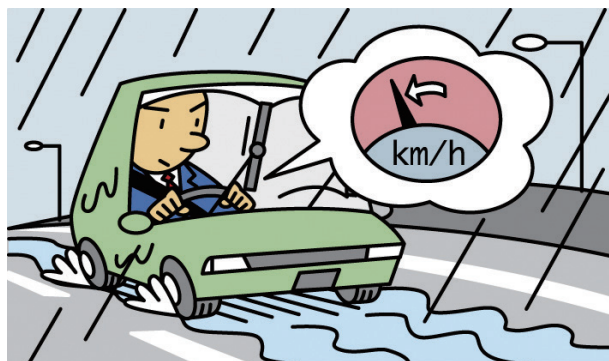
雨の日は より慎重な運転で 事故回避

①雨天時の事故防止に取り組もう

- 雨天時の事故防止のポイントをアドバイスしよう
- 濡れたくない歩行者の行動を周知しておこう

②梅雨に備えた車両整備を実施しよう

- 念入りな車両整備を行おう



雨天時の事故防止のポイントを

アドバイスしておこう

アドバイスしておこう

雨が続くこの時期は、油断していると事故が多発するので、事故防止に細かく気を配る必要があります。雨天時の事故防止のポイントとして、次のことを従業員にアドバイスしておきましょう。

- 晴天時よりもスピードを落とすとして運転する
- 晴天時よりも長く車間距離をとる
- 「急」のつく運転操作をしない
- ミラーに水滴が付着すると視界が悪化して、歩行者等を見落とすため、撥水材を塗布するなどして、視界の確保に努める
- 自車を目立たせるため、昼間でもライトを点灯する
- 豪雨時のアンダーパスへの進入は避ける

雨の降り始めの危険を周知しておこう

周知しておこう

周知しておこう

雨の日の歩行者は「濡れたくない」という心理から、先を急ぐために信号を無視したり、車が接近していても道路を横断したりすることがあります。

とくに雨の降り始めは、こうした行動をとりやすいので、歩行者を発見したときは、その動静をしっかりと確認して、急な飛出し等に対応できるように減速することを指導しましょう。

また、雨の降り始めはスリップへの注意も必要です。泥やホコリが路面に浮いて非常に滑りやすくなるからです。こうした雨の日の危険を周知して、晴天時よりも慎重に運転するように指導しておきましょう。

車両整備を念入りに行おう

念入りに行おう

念入りに行おう

梅雨にあたるこの時期は、突然の雨に見舞われることがあります。そこで、本格的な梅雨に入る前に、車両を念入りに整備しておきましょう。

雨の日はワイパーが視界確保に重要な役割を果たします。ワイパーの作動状況や拭き取りの状態をしっかりと点検するように指導してください。

もし、ワイパーゴム等が劣化し、拭き取りが適切でない場合には、交換を指示しましょう。デフロスターやエアコンの作動状況も点検・整備しておけば、視界確保の準備はOKです。

また、スリップ事故の原因のひとつとしてタイヤの残り溝の不足が挙げられます。タイヤの残り溝は、確実にチエックしておくよう呼び掛けておきましょう。スリップサインが出ている場合は速やかに交換してください。